



えいたに ゆなちゃん  
(6さい)

おいしゃさんに なりたいの。しろい ぶくを きて かつこいいんだよ。やさしい おいしゃさんになつて みんなの ひょうきを なおしてあげるんだ。



おひさま保育園のおともだち



おおうら さくやくん  
(6さい)

がっこうって おともだちが いっぱい できるし とも たのしそう。がっこうの せんせいになつて みんなに いろいろな ことを おしえたいな。



応急手当訓練で物干し竿と毛布で担架を作る(南弟子屈生活館)

## いざというときに備えて

地域防災訓練で地震発生時の対応を確認



災害机上訓練の様子(公民館)

日本大震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。訓練には、町内10自治会から約100人が参加。震度6強の地震発生により、家屋や公共施設、交通機関の倒壊、火災など甚大な被害が発生したという想定で訓練が行われました。初めに、弟子屈警察署員、町内郵便局の防災士を講師に、災害机上訓練を実施。地震発生時に取るべき行動などを書き出し、適切な対応方法を確認しました。また、弟子屈消防署員の指導のもと、身近な道具を使った応急手当を学んだほか、役場の建築担当職員からは住宅の耐震診断についての説明がありました。参加者の皆さんは訓練を通して、災害発生時の対応や日頃からの災害に対する備えの大切さなど「自助・共助」の役割を再認識していました。

平成23年度弟子屈町地域防災訓練が、2月21日から23日にかけて町内5カ所で行われました。訓練は、本町が平成18年に日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されたことを受けて、毎年行われています。昨年は東

### 町の話



### 町の話

We are enjoying !!  
サークル  
おじゃまします!

一直すっしーず  
代表・小濱 威徳さん  
会員・15人



一直すっしーずの皆さん  
中央が代表の小濱さん

一直すっしーずは、結成して19年の雪合戦チームです。元々、農家の若手を中心とした地域振興親睦を行う組織で、観光まつり(夏まつり)への出店などを行っていました。農閑期である冬季に何かスポーツがで



練習の様子

メンバーの皆さんには夢があります。それは、北海道のスポーツとして、雪合戦を子どもたちの間にも広めていくこと。とても楽しい雪合戦だからこそ、たくさんの人に親しんでほしいそうです。

きないかと長靴アイスホッケーを始め、大会に出場するようになりました。その後、挑戦したのが雪合戦。標茶町で毎年1月に開催されている昭和新年国際雪合戦釧根支部予選大会に第1回目から出場し、負け知らずのチームとして知られるようになりました。今年で14回を数える同大会で、実に12回もの優勝を果たしています。今年、町内のもう一つの雪合戦チーム「球将軍」が悲願の初優勝。一直すっしーずは惜しくも準優勝でした。準優勝チームも本大会(胆振管内壮瞥町で行われる昭和新年国際雪合戦)へ出場できるのですが、今年をあえて不参加を選んだそうです。代表の小濱さんは「今年はいろいろな事情でメンバーがそろわず不安がありました。本大会出場の常連だからこそ、万全の体制で臨みたい。来年また頑張ります」と話していました。



新システムの稼働を祝ってテープカット

## 迅速な証明書発行が可能

戸籍事務を電算化

本町の戸籍事務の電算化は、全国初となる自治体間事務委託方式で、本町と釧路町、白糠町の3町で共同運用します。戸籍データは、白糠町のメインサーバーと釧路町のバックアップサーバーに保管。サーバーの共同利用により大幅に経費が削減できるほか、分散管理することにより災害発生時のデータ紛失などを回避できます。また、システムの導入により、証明書発行時間の短縮、事務処理の正確性の確保などが図られ、皆さんに対するよりよいサービスの提供が可能になります。

戸籍事務が電算化され、3月19日から新しいシステムでの事務が始まりました。システム稼働初日の19日には「戸籍総合システム稼働式」が行われ、徳永町長、八幡町議会議長、木村勉釧路地方事務局次長がテープカットで稼働を祝いました。



徳永町長が電算化後初の証明書を発行